

2010年7月15日

推薦者各位

財団法人 NEC C&C 財団
専務理事 後閑 博史

「国際会議論文発表者助成」候補者に関する
2010年度後期分募集についてのお願い

拝啓 時下益々ご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、当財団では2010年度後期国際会議論文発表者助成候補者の募集を行います。

本助成は、海外で開催される国際会議において C&C 分野の論文を発表する若手の研究者を対象に、その会議に出席のための渡航費用を補助するものです。詳細については別紙募集要項をご参照下さい。

つきましては、貴殿の所属部門又はお知り合いで相応しい方がいらっしゃいましたら、ご推薦頂きたくお願い申し上げます。同封の推薦書に必要事項をご記入いただき、来る8月31日（火）までに本財団に届くようご返送下さい。

宜しくお願い申し上げます。

敬具

国際会議論文発表者助成候補者募集要項

I. 助成の内容

(1) 発表論文の内容

C&C分野、及びその関連技術

- * C&C分野とは、半導体デバイス技術・情報処理技術・電気通信技術およびこれらの技術の融合した技術分野をいう。
- * 関連技術とはC&C分野の応用技術全般を含む。
- * 推薦書内に、助成候補者の研究がどのように C&C の発展に貢献するかを記載する欄を設けておりますので、必ず記入して下さい。

(2) 助成候補者の資格

- ① 国際会議参加時に日本の大学又は国公立及びこれに準ずる研究所に在籍している研究者(原則として40才以下、大学院生を含む)。
- ② 国際会議での論文採用が原則として確定していること。
論文採用未確定の場合でも応募できる。ただしこの場合は論文採用確定を待って助成することとなる。
- ③ 経済的必要度が高いこと。

II. 助成の概要

(1) 応募件数は、1名につき発表論文1件とする。

(2) 1件当りの助成額

12～25万円、開催地などによる。

(3) 支給方法

財団助成会に出席後、本人の銀行口座へ振込むこととする。

(4) 助成の対象となる国際会議(2010年度後期募集分)

国際会議の開催期日が2010年11月1日～2011年4月30日のもの

(5) 報告書の提出

帰国後に調査報告書及び会計報告書を提出するものとする。

(6) その他

- ① 助成金受給に際し、参加する国際会議・発表論文等、応募時の条件を変更しての受給は認められない。
- ② 助成金受給決定者について、受給後、当財団の年次報告書「1年のあゆみ」に次の事項を掲載する予定である。不都合のある方は事務局まで申し出ること。
掲載予定事項：氏名、所属・職位、論文名、参加された国際会議、顔写真

Ⅲ. 推薦の手続

(1) 推薦者

助成候補者の指導教官または所属部門の上司

(2)同一の推薦者(すなわち同一研究室)から同じ国際会議への参加する者を複数推薦する場合は、推薦者が優先順位をつけること(審査の際の参考情報とする)。

(3) 提出書類

①国際会議論文発表者助成候補者推薦書

※ 財団ホームページからダウンロードの上、必ず最新版を使用し、必ず全ての項目を記入すること。旧版の使用及び記入もれは審査に影響する。

<http://www.candc.or.jp/>

②論文発表の採用確定者は、採用通知書の写し

③発表論文の写し、又はそれに代るもの(論文作成前の場合はアブストラクトを必ず添付)

(4) 応募締切時期

2010年8月31日(火)(持参は不可。期日前までに郵送にて必着のこと)

(5) 本件に関する採否の連絡

2010年10月中旬までに連絡

(6) 推薦書送付先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7番1号 NEC本社ビル

財団法人 NEC C&C 財団

専務理事 後閑 博史

(7) 本件に関する連絡先

財団法人 NEC C&C 財団 事務局 中村 葉子

電話 03-3457-7711

ファクシミリ 03-3798-7818

以上